

入院診療計画書 (腹腔鏡下腎摘術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

様

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

病名 (他に考える病名)

症状

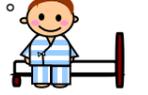
担当医師 @USERNAME

印

担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	手術前日 (/ /)	手術当日 (/ /)		術後1日目 (/ /)	術後2日目 (/ /)	術後3日目 (/ /)	術後4~6日目 (/ /) ~ (/ /)	術後7日目 (/ /)	術後8・9日目 (/ /) ・ (/ /)
経過	入院	術前	術後						退院
目標	手術に向けての準備ができる。 	コンディションのいい状態で手術を受けることができる。 		ベッドの上で起き上がることができる。	病室内を歩くことができる。		病院内を歩くことができる。		退院に向けての準備ができる。 
検査			術後病室に戻ってから、採血をします。 	朝、採血をします。レントゲン検査があります。 	朝、採血をします。 		術後6日目の朝に採血をします。 		
処置	手術部位の除毛をします。主治医が、腕に名前や血液型を書きます。	浣腸を行います。 	心電図モニターを付け、酸素を投与します。痰を出しやすくするために、吸入を行います。手術後創の近くに管が入ってきます。 	医師が創の消毒をします。創の状態によって、管が抜けます。痰を出しやすくするため吸入を行います。 	医師が創の消毒を行います。痰を出しやすくするため吸入を行います。 	医師が創の消毒を行います。 	医師が創の消毒を行います。 	創部の抜糸をします。 	
点滴			手術中に点滴が開始になります。 	点滴続きます。 	点滴続きます。 	医師の許可が得たら点滴終了します。			
内服	薬剤師が薬の内容を確認します。継続していてもいいか医師に確認後お伝えします。 	朝の薬については、麻酔科医師の指示に従って内服していただきます。 		医師の指示により普段内服している内服薬が再開する場合があります。 					
食事	夕食までは、通常通りに食事ができます。その後指示により絶食となります。詳しい時間は説明します。 	飲食できません。(手術後、うがいやスポンジで口を湿らせるなどの対応をします。) 		水分開始になります。 	食事開始になります。本日はお粥が出ます。 		本日から常食になります。		
清潔	手術部位の除毛をした後に、入浴していただきます。 			体拭きを行います。 	体拭きを行います。 	体拭きを行います。 	シャワー浴可能となるまで1日おきに体拭きを行います。 	シャワー浴ができます。 	
排泄			手術中におしっこの管が入ります。 		おしっこの管が抜けます。その後はトイレで蓄尿していただきます。トイレ歩行が困難な時には尿器やポータブルトイレを使用できます。 	尿量確認のため、退院までトイレで蓄尿していただきます。			
行動	行動の制限はありません。	看護師、医師と共に歩いて手術室に入ります。歩くのがつらい場合は、車椅子などで入室します。	手術後はベッド上安静です。寝返りしたときは、看護師が手伝います。	ベッド上で起き上がることができます。 	病室内を歩くことができます。 		病院内を自由に歩くことができます。 		
説明	看護師が、手術の必要物品の確認と、手術前後の予定について説明します。麻酔科医師と、手術室看護師が訪問に来ます。 		手術終了後、家族の方へ医師より説明がありますので、病室または8階のフロア内でお待ちください。 						朝看護師が、退院の手続き等について説明します。 

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性

有 無

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号(No. 156) 承認月日(24年1月20日)

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名:

続柄: